

(様式3)

事業所名 グループホーム川田の宿

ユニット名 柊棟

作成日: 令和 4年 10月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	入居者の意見や思いなど、関わりから聞いた事、行動など、把握ができていない。	普段の関りから入居者の思いなど、不安にならないように対応できる。	1. 普段の関りから、些細なことも記録し、ケア会議などで情報共有を行う。 2. 入居者が不安にならないために声掛け、丁寧に接する。	12ヶ月
2	47	服薬ファイルは活用しているが、薬の種類や数量の変更があるために把握が出来ていない。	薬の知識を深め、服薬ミスなどないようにする。	1. 必ず薬の数の確認、チェック、利用者の名前を声に出して行う。(服薬マニュアル作成する) 2. 薬の変更時は薬状ファイルの確認、どのような効果、副作用などあるか確認をして知る。	12ヶ月
3	34	入居者の急変時に、自分の取るべき行動をスタッフ全員が理解する。	報告、判断、知識、技術、手順に沿って対応できる。	急変時のマニュアル作成	12ヶ月
4					
5					ヶ月